

歯科医学総合講義 3 : 636-3-DP1・DP2・DP3・DP4・DP8

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*小峯 千明 (保存修復学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>・単位数：2</p> <p>・学修目標 (GIO) : 人間性豊かな、広く社会に貢献できる歯科医師となるためには、4年次に実施される臨床参加型臨床実習に求められる「知識」が修得できているかを問うCBT、临床上必要な歯科医学及び口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識・技能が問われるOSCEを通過する必要がある。そのため、これまで講義や実習で学んだ(学ぶ)知識について、医療行動科学3と連動して修得する。</p>
担当教員	五十嵐 由里子、榊 実加、塩崎 一成、松野 昌展、岡田 裕之、岡田 優一郎、河野 哲朗、玉村 亮、栗原 紀子、竹内 麗理、平塚 浩一、加藤 治、*横山 愛、吉垣 純子、*齋藤 真規、泉福 英信、瀧澤 智美、谷本 安浩、永田 俊介、宇田川 琢、*有川 量崇、*鈴木 到、田口 千恵子、青野 悠里、川島 央暉、三枝 禎、*内山 敏一、*神谷 直孝、*庫川 幸利、*小峯 千明、*寺中 文子、*伊東 浩太郎、*大塚 航平、*小松 知広、*徳永 悟士、*村岡 宏隆、*五十嵐 憲太郎、*石井 智浩、*伊藤 誠康、*井上 正安、*大久保 昌和、*小川 晃奈、*小出 恭代、*鈴木 亜沙子、*中田 浩史、*中山 洋平、*齋藤 由未、*高井 英樹、*高井 瑞穂、*武田 萌、*宇都宮 忠彦、*久山 佳代、*末光 正昌、*岡部 達、*神尾 直人、*鈴木 誠、*渡邊 昂洋、*倉持 光成、*深井 譲滋、*浅野 隆、*岩崎 正敏、*岩田 好弘、*小見山 道、*鈴木 浩司、*内堀 聡史、*小林 平、*若見 昌信、中山 光子、*山崎 陽祐、*飯田 崇、長島 輝明
教科書	2年次で使用した各学科目教科書・スライド 3年次で使用した各学科目教科書・スライド CBT Pass、実践、Answer など
評価方法 (EV)	定期試験の成績を最終評価点とする。定期試験が65%を満たない者に対しては、再試験を実施する。ただし、当該学年に配置された全科目のうち、授業時間の1/5以上を欠席した科目が1科目以上ある者は、再試験を受ける資格が与えられない。定期試験の再試験においても65%以上を合格点とする。平常試験は前期1回、後期1回の計2回行う。各65%点以上の成績を得た学生に対しては、最終評価判定に考慮することができる。なお、平常試験の再試験は行わない。平常試験および定期試験を欠席し追試験を希望する者は、速やかに正当な理由を証明する書類を提出すること。審議の上、追試験の受験資格の有無を決定する。追試験の追試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	3年次では臨床に係る学科目について学んでいくため、2年次までに修得した基礎的な知識の定着が必要となる。また、3年次で学修する学科目はCBTや国家試験に多く出題されるため重要である。歯科医学総合講義3では2年次に修得した学科目ならびに3年次で学修をしている学科目についての知識の定着を目的としている。代表的な問題はwebclassで公開しているため、是非活用していただきたい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/08 (水) 2時限 10:40~12:10	解剖学	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な解剖学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの解剖学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次解剖学で学んだ講義内容の復讐を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 [骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系]</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/08 (水) 2時限 10:40～12:10	解剖学	④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。	五十嵐 由里子
2026/04/15 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔解剖学	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な口腔解剖学の知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの口腔解剖学の知識を修得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次解剖学で学んだ講義内容の復讐を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系〔骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系〕 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ②口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 ⑦上顎洞の構造、機能及び口腔との関係を説明できる。	五十嵐 由里子
2026/04/22 (水) 2時限 10:40～12:10	歯の解剖学	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯の解剖学の知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯の解剖学の知識を修得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次解剖学で学んだ講義内容の復讐を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 a 基本事項 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑤歯髓の構造と機能を説明できる。	塩崎 一成

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/30 (木) 2時限 10:40～12:10	組織学	<p>【授業の一般目標】 形態系基礎医学の一分野である組織学の理解を深め、歯科医師国家試験を通過するために2年次で学修した組織学を総復習し知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞を説明できる。 2. 上皮組織、支持組織、筋組織および神経組織を説明できる。 3. 各器官系を説明できる。 4. エナメル質、象牙質、歯髄およびセメント質の微細構造を説明できる。 5. 歯根膜、歯槽骨および歯肉の微細構造を説明できる。 6. 口腔粘膜および唾液腺の微細構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：教科書やレジュメにて、本講義の内容を把握する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で学修した項目を、教科書やレジュメと照らし合わせ、修得する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織 [上皮組織、結合 (支持) 組織 (血液を含む)、筋組織、神経組織]</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 b 歯周組織 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔 b 唾液腺 c 舌、扁桃 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ②結合 (支持) 組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。 C-2 生命の分子的基盤 C-2-3) 細胞の構造と機能 ①真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯 (乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。</p>	岡田 裕之 河野 哲朗
2026/05/13 (水) 2時限 10:40～12:10	生化学	<p>【授業の一般目標】 機能系基礎医学である生化学の理解を深めるために、全般的に総復習を行い全体の流れを学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの生化学の知識を修得する。 2. 炎症の機序を説明できる。 3. 細胞外基質を説明できる。 4. 唾液の成分と機能を説明できる。 5. 歯の硬組織の組成と機能を説明できる。 6. 齶蝕の成り立ちを説明できる。 7. 三大栄養素とエネルギー代謝を説明できる。 8. 骨のリモデリング機序と調節機構を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：2年生で配布したプリントの総復習 準備学修時間：2時間 事後学修項目：復習プリントで講義内容の理解度を確認する。 事後学修時間：1時間</p>	竹内 麗理 栗原 紀子 平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/13 (水) 2時限 10:40～12:10	生化学	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、講義開始時に小試験を実施したのち解説を行う。 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 生命の分子の基盤 C-2-4) 細胞の情報伝達機構 ③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能、合成と分解を説明できる。 C-5 病因と病態 C-5-5) 炎症 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑤唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ④口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィーム）及び歯石を説明できる。 C 生命科学 C-2 生命の分子の基盤 C-2-1) 生命を構成する基本物質 ④生体のエネルギー産生と利用を説明できる。 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ④骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。</p>	竹内 麗理 栗原 紀子 平塚 浩一
2026/05/20 (水) 2時限 10:40～12:10	生理学	<p>【授業の一般目標】 機能系基礎医学である生理学の理解を深めるために、全般的に総復習を行い全体の流れを学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの生理学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：2年生で配布したプリントの総復習 準備学修時間：2時間 事後学修項目：復習プリントで講義内容の理解度を確認する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング： 学修媒体：</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系〔骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系〕</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ③血管の構造と血圧調節機能を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ⑧神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	*横山 愛
2026/05/27 (水) 2時限 10:40～12:10	微生物学	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な微生物学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの微生物学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：ウイルス、真菌、原虫、口腔関連細菌、口腔感染機構 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	泉福 英信 瀧澤 智美 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/27 (水) 2時限 10:40～12:10	微生物学	<p>アクティブラーニング：無</p> <p>プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因・病態 1 病因・病態 キ 感染症 a 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p>	泉福 英信 瀧澤 智美 *齋藤 真規
2026/06/03 (水) 2時限 10:40～12:10	免疫学	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な免疫学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの免疫学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：中枢リンパ組織と末梢リンパ組織の名称と機能、骨髄の造血幹細胞から免疫担当細胞への分化、自然免疫、獲得免疫、ワクチンを予習しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容の復習</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 e 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-2) 免疫 ③免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。</p>	泉福 英信 *齋藤 真規 瀧澤 智美
2026/06/10 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科材料学①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科材料学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯科材料学の知識を修得する。 2. 金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の性質について説明できる。 3. 歯科生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的性質について説明できる。 4. 応力-ひずみ曲線について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：2年生で講義した歯科生体材料・歯科材料の素材別による基本的性質について配布プリントを確認する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：配布したプリントを中心に、歯科材料の基本的性質について整理する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 11 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 a 基本的性質</p>	谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/10 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科材料学①	<p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ②材料の物理的 (力学的性質と熱的性質を含む)、化学的 (溶解性を含む)、生物学的 (生体活性、副作用を含む) 性質とその評価法を説明できる。</p>	谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢
2026/06/17 (水) 2時限 10:40～12:10	歯科材料学②	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯科材料学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯科材料学の知識を修得する。 2. 印象材の種類、組成および性質について説明できる。 3. 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 4. 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。 5. 成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。 6. 合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。 7. 鑄造・加工用金属材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：2年生で講義した印象材、模型材、パターン材、成形修復材料、合着・接着用材料、鑄造・加工用金属について配布プリントを確認する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：配布したプリントを中心に、各種歯科材料の種類、組成および性質について整理する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 c 印象用材料・機器</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 d 模型用材料、ワックス e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 f 歯冠修復・義歯用材料 h 装着用材料、接着処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢
2026/06/24 (水) 2時限 10:40～12:10	衛生学①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な衛生学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの衛生学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次公衆衛生学で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理</p>	*有川 量崇 長島 輝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/24 (水) 2時限 10:40～12:10	衛生学①	④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑥公衆歯科衛生を概説できる。	*有川 量崇 長島 輝明
2026/07/01 (水) 2時限 10:40～12:10	衛生学②	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な衛生学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの衛生学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：講義プリント、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 7 感染症対策 ア 感染症対策と疫学 b 感染症の予防</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ③感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。</p>	*鈴木 到
2026/07/08 (水) 2時限 10:40～12:10	薬理学 1	<p>【授業の一般目標】 薬理学 1 のほか関連する薬理学 2 の学修を振り返り、歯科医師として薬物を有効かつ安全に使用するために備えるべき薬理学の知識を確実に身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬理学 1 の学修項目を挙げられる。 2. 薬理学 1 の各学修項目の要点を簡潔に説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：薬理学 1 の学修項目を挙げ、要点を簡潔に説明できる。 事前学修時間：約60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 a 薬物療法の種類と特徴 c 薬物動態 a 投与経路と剤形の種類と特徴 b 用量と反応 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-6 生体と薬物 C-6-2) 薬理作用 ①薬理作用の基本形式と分類を説明できる。 ②薬物作用とその作用機序を説明できる。 ③薬理作用を規定する要因 (用量と反応、感受性) を説明できる。 ④薬物の連用の影響 (耐性、蓄積及び薬物依存) を説明できる。 ⑤薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。 C-6-3) 薬物の適用と体内動態 ①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。 ②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。</p>	三枝 禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/08 (水) 2時限 10:40~12:10	薬理学 1		三枝 禎
2026/07/15 (水) 2時限 10:40~12:10	平常試験①	<p>【授業の一般目標】 前期の講義内容に対する理解度の確認を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでの講義内容、配布資料を復習する。 ・準備学修時間：前期を通じて ・事後学修項目：平常試験における苦手科目、内容を抽出した全内容 ・事後学修時間：定期試験（総合試験）まで</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無学修媒体：試験問題用紙配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p>	五十嵐 由里子 榊 実加 塩崎 一成 松野 昌展 岡田 裕之 岡田 優一郎 河野 哲朗 栗原 紀子 竹内 麗理 平塚 浩一 加藤 治 *横山 愛子 吉垣 純子 *齋藤 真規 泉福 英信 瀧澤 智美 谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢 *有川 量崇 *鈴木 到 田口 千恵子 青野 悠里 川島 央暉 三枝 禎 *小峯 千明 *伊東 浩太郎 *岡部 達
2026/07/22 (水) 2時限 10:40~12:10	平常試験①解説講義	<p>【授業の一般目標】 前期の講義内容に対する理解度の確認を行う。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 前期の講義内容に対する歯科医師国家試験必修問題レベルの知識を修得する。 2. 歯科医師国家試験必修問題レベルおよびCBTレベルの知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでの講義内容、配布資料を復習する。 ・準備学修時間：前期を通じて ・事後学修項目：平常試験における苦手科目、内容を抽出した全内容 ・事後学修時間：定期試験（総合試験）まで</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 試験結果を参照し、解説やフィードバックを行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p>	*小峯 千明 五十嵐 由里子 榊 実加 塩崎 一成 松野 昌展 岡田 裕之 岡田 優一郎 河野 哲朗 栗原 紀子 竹内 麗理 平塚 浩一 加藤 治 *横山 愛子 吉垣 純子 *齋藤 真規 泉福 英信 瀧澤 智美 谷本 安浩 永田 俊介 宇田川 琢 *有川 量崇 *鈴木 到 田口 千恵子 青野 悠里 川島 央暉 三枝 禎 *岡部 達 *伊東 浩太郎 中山 光子
2026/08/19 (水) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 前期までの復習とCBTに向けた基礎知識の復習法を理解し、後期にむけた学修方法を再度理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 前期の講義内容に対する歯科医師国家試験必修問題レベルの知識を修得する。 2. 個人の学修方法を見直し、後期に向けて改善できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：前期を通じて</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文・科学・芸術・時事問題などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-1) 課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。</p>	*小峯 千明 *伊東 浩太郎 *岡部 達 中山 光子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/08/19 (水) 2時限 10:40～12:10	ガイダンス	③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-2-2) 学修の在り方 ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ④後輩等へ適切に指導できる。	*小峯 千明 *伊東 浩太郎 *岡部 達 中山 光子
2026/09/10 (木) 1時限 09:00～10:30	保存修復学①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：3年次保存修復学で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント 7 成形技術・機器 ウ 金属材料の成形技術・機器 a 鋳造工程 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理 a セラミックス被着面処理 b コンポジットレジン被着面処理 c 金属被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ②診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐
2026/09/17 (木) 1時限 09:00～10:30	保存修復学②	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：3年次保存修復学で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p>	*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/17 (木) 1時限 09:00～10:30	保存修復学②	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐</p>
2026/09/24 (木) 1時限 09:00～10:30	保存修復学③	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの保存修復学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：3年次保存修復学で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。</p>	<p>*小峯 千明 *内山 敏一 *神谷 直孝 *寺中 文子 *庫川 幸利 *山崎 陽祐</p>
2026/10/01 (木) 1時限 09:00～10:30	放射線学①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な放射線学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの放射線学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：放射線物理と画像検査法について説明できる。 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、ディスカッション、ポストテスト 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*徳永 悟士</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/01 (木) 1時限 09:00～10:30	放射線学①	<p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 a 放射線の性質と作用</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*徳永 悟士
2026/10/08 (木) 1時限 09:00～10:30	有床義歯補綴学①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な有床義歯補綴学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの有床義歯補綴学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：有床義歯補綴学に関連するこれまで学修した内容の確認 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、ディスカッション、ポストテスト 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠如・欠損の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 ②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。 ③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 ⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 ⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。 ⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。</p>	*伊藤 誠康 *石井 智浩 *五十嵐 憲太郎 *大久保 昌和 *鈴木 亜沙子 *井上 正安 *小川 晃奈 *中田 浩史 *小出 恭代
2026/10/22 (木) 1時限 09:00～10:30	有床義歯補綴学②	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な有床義歯補綴学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの有床義歯補綴学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：有床義歯補綴学に関連するこれまで学修した内容の確認 ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、ディスカッション、ポストテスト 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置</p>	*伊藤 誠康 *石井 智浩 *五十嵐 憲太郎 *大久保 昌和 *鈴木 亜沙子 *中田 浩史 *井上 正安 *小川 晃奈 *小出 恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/22 (木) 1時限 09:00～10:30	有床義歯補綴学②	<p>e 歯の欠如・欠損の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p> <p>②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。</p> <p>③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p> <p>⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p> <p>⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。</p> <p>⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p> <p>⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。</p>	<p>*伊藤 誠康</p> <p>*石井 智浩</p> <p>*五十嵐 憲太郎</p> <p>*大久保 昌和</p> <p>*鈴木 亜沙子</p> <p>*中田 浩史</p> <p>*井上 正安</p> <p>*小川 晃奈代</p> <p>*小川 恭代</p>
2026/10/29 (木) 1時限 09:00～10:30	薬理学 2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>薬理学 1・2 の学修を振り返り、歯科医師として薬物を有効かつ安全に使用するために備えるべき薬理学の知識を確実に身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 薬理学 1 のほか、薬理学 2 のこれまでの学修項目を挙げられる。</p> <p>2. 薬理学 1 のほか、薬理学 2 のこれまでの各学修項目の要点を簡潔に説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：薬理学 1 のほか薬理学 2 のこれまでの学修項目を挙げ、要点を簡潔に説明できる。</p> <p>事前学修時間：約60分</p> <p>事後学修項目：授業時配布資料を用いた要点確認</p> <p>事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有</p> <p>学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>303教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅶ 治療</p> <p>8 薬物療法</p> <p>ア 薬物の選択</p> <p>b 薬効</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 1 治療の基礎・基本手技</p> <p>コ 薬物療法</p> <p>a 薬理作用 (薬力学、主作用および副作用を含む)</p> <p>b 薬物動態</p> <p>c 薬物投与 (連用と併用を含む)</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅶ 治療</p> <p>8 薬物療法</p> <p>ア 薬物の選択</p> <p>a 薬物療法の種類と特徴</p> <p>c 薬物動態</p> <p>e 薬物適用の注意</p> <p>c 抗微生物薬</p> <p>d 抗腫瘍薬</p> <p>e 代謝改善薬、ビタミン</p> <p>f 止血薬、抗血栓薬</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-6 生体と薬物</p> <p>C-6-1) 薬物と医薬品</p> <p>①医薬品の分類を説明できる。</p> <p>②毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。</p> <p>③日本薬局方を説明できる。</p> <p>C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>①薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。</p> <p>②薬剤耐性 (antimicrobial resistance <AMR>) に配慮した適切な抗菌薬使用を説明できる。</p>	三枝 禎
2026/11/05 (木) 1時限 09:00～10:30	口腔衛生学	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な口腔衛生学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの口腔衛生学の知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：3年次の口腔衛生学で学んだ講義内容の復習を行い、それに関連する日々鍛錬の問題を解く。</p> <p>・準備学修時間： 60分</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/05 (木) 1時限 09:00～10:30	口腔衛生学	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 c 口腔清掃（歯磨剤を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ①主な歯科疾患（齶蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。 ②齶蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。 ③プラークコントロールの意義と方法を説明できる。 ④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。</p>	田口 千恵子
2026/11/12 (木) 1時限 09:00～10:30	歯周治療学	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患の病因と病態を理解し、その病因に対応した歯周病治療を学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 正常歯周組織を図説できる。 3. 歯周疾患の病因を説明できる。 4. 歯肉炎および歯周炎の病態を説明できる。 5. 歯周疾患のリスクファクターを列挙し、それに対応した歯周基本治療を選択、説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：正常歯周組織の図を確認し、歯肉炎および歯周炎における変化も確認する。 臨床歯周病学をもちいて、歯周疾患の病因（リスクファクター）を確認する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：歯周組織の組織学的構造を理解した上で、歯周疾患の病態を説明できるようにし、その病因とそれに適した歯周基本治療を選択、説明できるようにする。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【アクティブラーニングの有無】 アクティブラーニング無 【学修媒体等】 歯科医師国家試験抜粋のプリント、解説およびパワーポイント、301教室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる（疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む）。 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*高井 英樹
2026/11/19 (木) 1時限 09:00～10:30	口腔病理学①	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な口腔病理学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの口腔病理学の知識を修得する。 2. 顎顔面領域に発生する疾患を分類できる。 3. 顎顔面領域に発生する疾患の病因を説明できる。 4. 顎顔面領域に発生する疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 5. 顎顔面領域に発生する疾患の疫学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/19 (木) 1時限 09:00～10:30	口腔病理学①	<p>・準備学修項目：口腔病理学を修得するのに必要な組織学および口腔病理学で学んだ知識を復習し、それに関する日々鍛錬問題を解く。</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 h 先天異常・発育異常 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮 ①細胞傷害と組織傷害を説明できる。 C-5-3) 修復と再生 ④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 C-5-5) 炎症 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる C-5-6) 腫瘍 ③上皮異形成を説明できる。 ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 ⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。</p>	*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子
2026/11/26 (木) 1時限 09:00～10:30	口腔病理学②	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な口腔病理学の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの口腔病理学の知識を修得する。 2. 顎顔面領域に発生する疾患を分類できる。 3. 顎顔面領域に発生する疾患の病因を説明できる。 4. 顎顔面領域に発生する疾患の病理組織学的特徴を説明できる。 5. 顎顔面領域に発生する疾患の疫学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔病理学を理解するのに必要な組織学、口腔病理学の講義で学んだ知識を復習し、それに関連する日々鍛錬を解く。</p> <p>・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 h 先天異常・発育異常 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 p 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 C-5-3) 修復と再生</p>	*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/26 (木) 1時限 09:00～10:30	口腔病理学②	④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 C-5-4) 循環障害 ⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。 C-5-5) 炎症 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる ③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 ④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。 C-5-6) 腫瘍 ③上皮異形成を説明できる。 ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 ⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	*久山 佳代 *末光 正昌 中山 光子
2026/12/03 (木) 1時限 09:00～10:30	歯内療法学	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な歯内療法学の知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの歯内療法学の知識を修得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科保存学 1 歯内療学分野 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*神尾 直人
2026/12/10 (木) 1時限 09:00～10:30	クラウンブリッジ補綴学	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要なクラウンブリッジ補綴学の知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルのクラウンブリッジ補綴学の知識を修得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ク 口腔・顎顔面の機能障害 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。	*小見山 道 *若見 昌信 *小林 平 *鈴木 浩司 *浅野 隆 *内堀 聡史 *岩崎 正敏 *岩田 好弘
2026/12/17 (木) 1時限 09:00～10:30	放射線学②	【授業の一般目標】 歯科医師として具有すべき知識が問われる歯科医師国家試験を通過するために必要な放射線学の知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医師国家試験必修問題レベルの放射線学の知識を修得する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：画像診断について説明できる。	*徳永 悟士

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/17 (木) 1時限 09:00～10:30	放射線学②	<p>・準備学修時間： 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、ディスカッション、ポストテスト 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	*徳永 悟士
2026/12/24 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験②	<p>【授業の一般目標】 後期の講義内容に対する理解度の確認を行う。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 後期の講義内容に対する 歯科医師国家試験必修問題レベルの知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでの講義内容、配布資料を復習する。 ・準備学修時間：後期を通じて ・事後学修項目：平常試験における苦手科目、内容を抽出した全内容 ・事後学修時間：定期試験（総合試験）まで</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 303教室</p>	*小峯 千明 *谷本 安浩 *永田 俊介 *宇田川 琢 *有川 量崇 *鈴木 到 *田口 千恵子 *青野 悠里 *川島 央暉 *三枝 禎 *神谷 直孝 *庫川 幸利 *寺中 文子 *伊東 浩太郎 *大塚 航平 *小松 知広 *徳永 悟士 *村岡 宏隆 *五十嵐 憲太郎 *石井 智浩 *伊藤 誠康 *井上 正安 *大久保 昌和 *小川 晃奈代 *小出 恭代 *鈴木 亜沙子 *中田 浩史 *中山 洋平 *齋藤 由未 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *武田 萌 *宇都宮 忠彦 *久山 佳代 *末光 正昌 *岡部 達 *神尾 直人 *鈴木 誠 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *深井 讓滋 *浅野 隆 *岩崎 正敏 *岩田 好弘 *小見山 道 *鈴木 浩司 *内堀 聡史 *小林 平昌 *若見 昌信 *中山 光子 *山崎 陽祐
2027/01/14 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験②解説講義	<p>【授業の一般目標】 後期の講義内容に対する理解度の確認を行う。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 後期の講義内容に対する 歯科医師国家試験必修問題レベルの知識を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでの講義内容、配布資料を復習する。 ・準備学修時間：後期を通じて事後 ・学修項目：平常試験における苦手科目、内容を抽出した全内容 ・事後学修時間：定期試験（総合試験）まで</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 試験結果を参照し、解説やフィードバックを行う。</p>	*小峯 千明 *有川 量崇 *伊藤 誠康 *久山 佳代 *小見山 道 *三枝 禎 *谷本 安浩 *若見 昌信 *伊東 浩太郎 *石井 智浩 *神尾 直人 *鈴木 浩司 *小林 平 *田口 千恵子 *永田 俊介 *宇田川 琢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2027/01/14 (木) 1時限 09:00~10:30	平常試験②解説講義	【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 303教室	*鈴木 到 *青野 悠里 *川島 央暉 *神谷 直孝 *庫川 幸利 *寺中 文子 *大塚 航平 *小松 知広 *徳永 悟士 *村岡 宏隆 *五十嵐 憲太郎 *井上 正安 *小久保 昌和 *小川 晃奈 *小出 恭代 *鈴木 亜沙子 *中田 浩史 *中山 洋平 *齋藤 由未 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *武田 萌 *宇都宮 忠彦 *末光 正昌 *岡部 達誠 *鈴木 誠 *渡邊 昂洋 *倉持 光成 *深井 譲滋 *淺野 隆 *岩崎 正敏 *岩田 好弘 *内堀 聡史 *中山 光子 *山崎 陽祐 *長島 輝明